



会場風景



2016 清晨会 PART II 書展

と き:平成 28 年 10 月 25 日(火)~30 日(日)

と ころ:名古屋市市民ギャラリー栄

清晨会 PART II 書展を終えて

10 月 30 日、PART II として再び出発した清晨会書展を終えました。開催時期、天候等今までになく条件が悪い中、大勢の来客をお迎えし「よかった」「楽しかった」の言葉もいただき、達成感も感じることが出来ました。振り返って、十ヶ月ほど前から、書展のテーマ及び作品の構成を探り始めました。数々のアイディアの中から「のれんにホッとさせる言葉を書く」案に決定しました。例年のごとく、清城書道会の学生

たちは、夏の合宿で生き生きと楽しそうに近代詩作品を書き上げ、会員たちの大小の作品も夏には仕上げの段階に入りました。

さて、のれんが遅々として進みません。なかなか手が付けられない中、時だけが刻々と過ぎ、この企画はもう無理では・・・というジレンマが漂うそんな中、いとも簡単に染色までして仕上げた人が現れました。それが引き金になり、そこから一人また一人と個性的な作品が出来上がりました。まさに案ずるより産むがやすしでした。

社中展を催すにあたり、一番大切にしていることは、オリジナリティ、即ち他にない特別なことを、誤解を恐れずチャレンジしていきたいと思い、次回の準備に取り掛かります。

(記 村松 紫雲)